翔

第38号（令和4年9月1日）

街歩き　11月14日「きものの日」

全国きもの指導者協会
認証校
山原昌娃きもの着付学院

のと里山里海に育った
成人式の帯結び

◆主催　七尾市文化協会
◆共催　七尾市教育委員会
◆主管　山原昌娃きもの着付学院

七尾市文化協会の方よりごあいさつ

七尾市民文化祭に参加して

師範会　山田　清美

ひょんなことから、文化祭『のと里山里海に育った成人式の帯結び』に参加できることになる。何やら新聞紙をボディにまとわせ帯結びをするとか!?なんだかワクワク!!ところが新聞紙を着物のように着せ付けるのが中々厄介、破れるし、足りない。

次は帯結び、手持ちの帯はなんだか見栄えしない帯ばかり。急いでオークションでレインボーという名の帯をゲット。手に取るとペラペラーンの帯。どう生かす?クルっとひねって折る折る。ひねりが出なくて汗かきましたがレインボー色に助けられ可愛く完成!皆さん、帯結び楽しんでいただけたかな?私は最高に楽しかったでーす。(笑)

洋服に光があたる

七尾準師範会　平　和美

昨年の市民文化祭は、例年にない帯結びの表現の場となりました。

準師範会はボディーに洋服を着せ、袋帯で成人式の帯結びをすることになり、工夫をこらし全体の調和を考えて展示しました。

はてさて、いざ挑戦してみるとその斬新さに心を惹かれ大いなる学びとなりました。

仕上がってみると成人式の振袖に活用できるものとなっていました。せっかくの機会を頂戴し心からの感謝を深くしております。

新聞紙、洋服に帯を合わせて

ユニークな素材を着物に見立て色鮮やかな帯と組み合わせた企画展示「のと里山里海に育った成人式の帯結び」が、七尾市御祓町のフォーラム七尾であった。

七尾市民文化祭のプログラムの一つで「山原昌娃きもの着付学院」（同市藤橋町）が企画。着付けの師範や講師がそれぞれ、包装紙や手持ちのワンピース、新聞紙を着物のようにマネキンに着せ、帯を巻いた。新聞紙などは破れやすいが、襟を付け、腰ひもを締めた後に帯の下から出る「おはしょり」など細部にもこだわった。他にも振り袖に帯を結んだ作品など計二十二点が並んだ。山原昌娃学院長は、成人式のお祝いの意味も込めたといい「新聞紙や洋服を着せて、遊びでもあり、挑戦でもある」と話した。（大野沙織）

新聞紙で着物を作り、鮮やかな帯を結んだ作品が並ぶ会場＝七尾市御祓町で

七尾でユニークな企画展

北陸中日新聞　令和３年11月6日付

第17回 七尾市民文化祭
第23回 きもの文化を楽しむ

◆日時　令和３年10月31日(日)
午前11時～午後３時

◆場所　パトリア４階
フォーラム七尾大ホール

挑んだ、遊んだ「帯結び展」閉幕迎えて心もはじけた

「のと里山里海に育った成人式の帯結び」に参加して

七尾準師範会　関塚美智子

きもの着付ショーに久しぶりの参加です。コロナも少し落ち着いたかの状態です。姿枕使用の立て矢帯結びです。最初は、ボディに結ぶか、仲間といろいろなアイデアを出し合いましたがなかなか決まりませんでした。和紙を使用し、帯の色とマッチ、そしてタオルを巻いてすべり落ちを防ぐ。形も小さく高い位置にして軽やかに結ぶ。立て矢結びが苦手な私は、何回も先生にご指導頂き、どうにか形造りが出来ました。帯は斜めが基本です。手先に３本ダーツを取る時がなかなか素直におろすことが出来ず悩みました。仲間と過ごした時間は、とても有意義でよかったです。

「のと里山里海に育った成人式の帯結び」に参加して

羽咋教室　國門加寿子

着付士科を受講している時、成人式の帯結びの参加を勧められ、迷いながらも参加してみました。前日、着付士科の仲間と一緒に何とか振袖の着付けを終了。額の汗を拭って周りを見回すと先輩方々の素晴らしい帯結びが目に飛び込んできました。一人一人の個性が溢れ、帯を結ぶ人の温かい思いが伝わって来ました。又、初めて見るワンピースの帯結びにも、帯の持つ可能性の広がりを深く感じました。

自分で着物が着られて人にお太鼓を結んであげられるだけでいいとの思いに留まっていた私ですが、素敵な帯結びに出会い、色々な帯結びにも挑戦してみたくなってきました。

【全国和装学院連絡会　主催】

「きもので街歩き」

◆令和３年11月14日(日)
パトリア・ミナクル　（雨天の為館内を散策）
13:30 ～　無料着付け教室
14:30 ～　きもので街歩き（38名）

北陸中日新聞　令和３年11月16日付

着物姿でパトリアを練り歩く参加者たち＝七尾市御祓町で

「きものの日」和装で優雅に

七尾　パトリアなど練り歩く

十五日の「きものの日」に合わせ、七尾市藤織町の「山原昌娃きもの着付学院」は十四日、着物姿で街歩きを楽しむ催しを開いた。当初は駅前の複合施設パトリア（同市御祓町）から能登食祭市場までゆったり歩く予定だったが、悪天候で計画変更し、パトリアと隣接するミナクルを練り歩いた。

和装姿の三十八人が参加。パトリア三階に集合し、渡り通路でミナクルへ。エスカレーターで一階まで下り、再び三階に戻り、パトリアで解散した。雨がやむのを見計らい、街歩きを楽しむ参加者もいた。

昨年十二月に山原昌娃学院長の市文化賞受賞を祝う祝賀会で、茶谷義隆市長が提案したのがきっかけで企画。山原学院長は「これまでは着付け教室で終わっていたが、市長の言葉で踏ん切りがついた。雨で街歩きはできなかったけど、次のお楽しみね」と笑顔。真新しい和服で参加した茶谷市長も「前々から着物で街中を歩けば、華やかでにぎやかになると思っていた。今後もやっていけたら」と語った。（稲垣達成）

街歩きに参加して

ふみ娃教室　平澤　純子

令和三年十一月十四日、いつもの小紋に半幅帯でパトリアからミナクル内を歩きました。雲行きが怪しい中、学院長や先生方の素早い判断で足元が濡れる事もなく、久しぶりの着物の装いを楽しみました。

コロナ禍の折、なかなか友人とのランチも出来ず、ましてや一人着物で出掛けることもなく…。当時の私は着付士科を受講中で、自分で着物を着る事がとても新鮮でした。

ご参加の皆様の女っぷりが数段上がり、洋服には出せない着物姿の日本人女性の美しさを再発見した一日となりました。

お世話役の皆様に感謝いたします。

着物の魅力再発見

参加者　三野　待子

「着物をきて七尾の街歩きに参加してみませんか」と友人の瀬口良子さんに誘われて、きもの大好きな私は友人三人と一緒に参加させていただきました。山原先生の着物に対する熱い想いの出発宣言の後散策に。しかし当日は雨。茶谷市長さんを先頭に、ミナクル・パトリアの中を歩く事に。もちろん市長さんは着物。男の方の着物姿格好いいですね。皆さん楽しそうに散策。そして感じたことはやはり日本人は着物が似合うと言う事を改めて思いました。背筋が伸び女性がとても綺麗に見えるから不思議です。着物の魅力を再発見する機会を与えて下さった山原着付学院に感謝です。これからもタンスに眠っている着物を着る機会を作り楽しみたいと思います。

全国いっせい きものの日 行事

◆令和４年７月３日(日)
寄り合い処みそぎ
10:00 ～　無料着付け教室（ゆかたの着方・帯結び）
11:20 ～　街歩き（45名）

きものの日（街歩き）

師範　藤澤　久江

藤田先生のお誘いで、（着物で街を歩く）に参加。人数が少ないと聞いていたが、行ってみてびっくり、市長さん始め大勢が集まって居りました。これも学院長、お世話して下さった方々の努力とお力のお陰と納得、感服致しました。

集合写真を撮り終えさて街へ。残念、雨です。仕方なく「館内を歩きましょう」となり、パトリア、ミナクル、歩きながら久々に会った仲間との会話が弾み楽しいひとときでした。「晴れ女」の私なのに何故？きっと年配の私が外を歩いて、躓いて怪我でもしたら大変と神様が足止めしてくれたのかも知れない。そう思って感謝することに。着物を着られただけでも有意義な一日でした。

北陸中日新聞　令和４年７月４日付

浴衣姿で涼やか街歩き

七尾　山原着付学院が講習会

七尾市藤橋町の「山原着付学院」は三日、同市馬出町の寄り合い処みそぎで浴衣の着付無料講習会を開き、涼やかな浴衣姿で一本杉通りから仙対橋までの街歩きを楽しんだ。

同学院が参加する全国和装学院連絡会が開く企画の一環。地元や金沢市などから約五十人が参加し、山原昌雄さんから基本の帯結びなど二種類の結び方を教わり、一人で挑戦。山原さんは「特別な術でなくてもいろいろなアレンジが楽しめる。ぜひ浴衣を着てお出かけしてください」とすすめた。

街歩きには、茶谷義隆市長も参加。晴れ間に涼やかな浴衣姿の一行が一本杉通りをにぎわせた。茶谷市長が山原さんに和装での街歩きを提案し、昨年十一月も着物で参加。今回は今年新調した浴衣を着用し、「浴衣や着物で街を歩くようなにぎわいを作っていきたい」と語った。参加した多村美絵さん(28)は「着付けは初めてで難しかったがこれから学んでいきたい」と意気込んだ。（大野沙織）

涼やかな浴衣姿で市内を歩く参加者たち＝七尾市馬出町で

ゆかたの着方講習に参加して

参加者　小林　紀子

着物大好きな私、神前さんからお誘いを受け喜んで申し込みさせて頂きました。

会場では山原先生が気さくにお声を掛けて下さり和やかな雰囲気の中でその時々に応じたゆかたの着方、年齢を問わず結ばれる蝶結びの仕方、アレンジの仕方を丁寧にわかりやすく二度も教えて頂きました。慣れない私は汗びっしょりで奮闘し、途中で頂いたポカリの美味しかったこと！街歩きの後は花嫁のれん館を見学。最後はもう一つの楽しみランチでした。ゆかたの着方は勿論、素敵な方達にもお会いでき、楽しい最高の講習会でした。ありがとうございました。

ゆかたを着て街歩き

師範　深浦　米子

「寄り合い処みそぎ」で、ゆかたの着方無料講習が開かれ、自分で着られるようになりたいという方を、お誘いして参加しました。

山原先生より、半幅帯で蝶結びを教わり、ゆかたの着方や「コツ」のお話をしていただきました。そのあと、衿や「シワ」を整え、すっきりしたゆかた姿にしあげました。

今まで、ゆかたを着て街歩きをする機会もなく、一緒に歩く経験をさせていただき、楽しかったそうです。ゆかたは、「着物の基本」。私も、改めて学ばせていただきました。

今後も、ゆかたや着物を着て、小物を揃え、街歩きを楽しんでいきたいと思っております。

全国きもの指導者協会
資格授与式

令和四年七月十七日（日）
於 和倉温泉 あえの風

終わりの見えないコロナ禍の中、毎年知恵をしぼり進めてきた授与式。少しずつ以前の授与式に戻りつつあります。コロナで思う様に進まない中での授与式はきっと思い出深い物になることでしょう。

新師範

新師範

学院長よりお祝いの挨拶

新師範

新師範

新師範の帯結び

新準師範の皆さん

自家製、手作りの
一夜干し、焼魚

竹一
能登食祭市場店
TEL 0767-52-9807

富山土建株式会社
〒925-0054　石川県羽咋市千里浜町ソ１番地
TEL（0767）22−0052
FAX（0767）22−9390
ISO 9001:2015 認証取得

全国きもの指導者協会
令和4年度 協会だより

資格を取得されました皆様、おめでとうございます。
十年、十五年、二十年と永い年月努力を積み重ね、頑張って来られた証。今後のご活躍に期待致しております。

資格取得者一覧

師範

長澤雅美
金沢市石引

この度は、師範の資格を頂き誠にありがとうございます。愛情深くご指導してくださる学院長や諸先生方、温かい仲間や家族に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも心と技を磨き、教えていただいている心と技術、学ぶ楽しさを伝えていけるよう、皆様のお役に立てるよう努力してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

竹田宏枝
七尾市本府中町

この度、師範という身に余る資格を頂きまして、山原学院長はじめ、諸先生方のご指導のお陰と、心より感謝申し上げます。
まだまだ未熟ではございますが、「着る喜び」「着せる喜び」そして「教える喜び」を胸に、日々精進してまいります。今後ともご指導頂きますよう、よろしくお願い致します。

荒木祐佳
金沢市堅田町

子供の頃、着物を着せてもらうと、特別な気分になるのが嬉しくて、自分で着られるようになりたい、娘にも着せたい、と始めた着付けでした。七五三、十三詣り、成人式、卒業式と、人生の節目に愛情たっぷりと深く関われた事に何よりの喜びを感じています。
様々な事が起きている今、決してあたりまえではないと感謝しています。

太田久美子
金沢市御所町

きれいな着付が出来るようにと習い始めて二十二年。着物に纏わる色々な勉強会、着物を身近に感じる幸せ、綺麗に着付出来た時の喜び、そして先生方、共に学んだ皆様に出会えた事すべてが私の財産となりました。この度師範の資格を頂き、これからはさらなる向上心を持って、日本の伝統文化着物の魅力を伝えていけるよう頑張りたいです。

準師範

松井美和子
七尾市松百町

愛とパワー（努力）笑顔の輪、この三つの輪を紡ぎ精進してまいります。共に切磋琢磨し、良き仲間との出会いに感謝し、共に準師範資格を頂く事が出来ました。これまでご縁を頂いた皆様に感謝致します。
これからも皆様のお力添えの程宜しくお願い致します。

小林幸代
羽咋市寺家町

山原学院長ならびに堀井先生の温かいご指導により準師範の資格を頂く事ができ心より感謝いたします。
着付は奥が深くまだまだ未熟な私ですが、これからも技術だけでなく心も一体になるよう日々精進してまいりますので、今後共ご指導いただけますようよろしくお願いいたします。

関塚美智子
七尾市中島町

この度は、準師範の資格を頂き感謝の気持ちで一杯です。多くの人がたずさわり、その思いが秘められた一枚の着物と帯。その上、着物文化の素晴らしさ、奥深さをひしひしと感じています。山原学院長のご指導のもと、共に学んだ仲間、協力してくれた家族に改めて感謝の気持ちで一杯です。

森田文枝
七尾市江曽町

この度、準師範の資格を頂くことができました。誠にありがとうござ

います。ここまで続けてこられたのは、山原先生のご指導のもと、同期の方との交流や、教室の皆様方とのなごやかな雰囲気の中での練習ができたおかげと思っております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

瀧山田　陽子
中能登町良川

この度は、準師範の資格を頂き、感謝しております。習い始めの頃、もともと不器用な私は、少しでも成長できるよう努めて参りました。まだまだ道半ばではありますが、山原学院長に背中を押して頂き、一歩前進することができました。今後も初心を忘れず精進して参ります。

小垣　裕美子
七尾市田鶴浜町

この度は、準師範の資格を頂き有難うございます。感謝の気持ちと共に身が引き締まる思いです。

着物が着れる事に喜びを感じながら学んできましたが、同時にその奥の深さと難しさを実感しています。

これからも初心を忘れず、精進してまいりたいと思います。

坂井宗民
金沢市神宮寺

お茶会できものを着る必要性から自分で着物を着られるようにと習ってから十年以上が経ち、まさか、私が準師範のお免状を頂けるとは当時の私は思ってもいなかったと思います。きものは日本の民族衣装であり、文化です。それを次の世代へバトンを渡すことが出来ますよう精進して参ります。

村上黎子
金沢市小坂町

この度は、準師範の資格を頂き誠に有難うございます。技術や知識の乏しい私が、この日を迎える迄に随分年月が掛かりました。その間、優しく見守り御指導下さった山原学院長、諸先生方、教室の皆様に心から感謝申し上げます。まだまだ未熟者ですが、今後共向上心を忘れず歩みたいと思います。

新連鎖校

木本きもの教室

師範　**木本しず子**

この度は、連鎖校の認定を頂きありがとうございます。自分で着物を着たいとの思いから高松教室で習い始め、着物を着る楽しさや着付けが出来る喜び、着物の奥の深さ等々　山原先生始め、堀井先生、そして先輩方にご指導頂きましたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。

まだまだ未熟な私ですが微力ながら、着物の楽しさや、素晴らしさを伝えていけるよう精進して参る所存です。今後とも何卒宜しくお願い致します。

宏枝きもの着付教室

師範　**竹田　宏枝**

この度は、連鎖校の認定を頂きまして、ありがとうございます。

身も心も引き締まる思いです。

ここまで続けてこれたのも、山原学院長ご指導の下、諸先生方、先輩方、友人、家族に支えて頂いたおかげと、大変感謝しております。

私が「きもの」に出会い、寄り添って感じた「きもの」のすばらしさ、着る楽しさ、着せる楽しみを、着付けを通じてより多くの人にお伝えできる様、それを励みに、日々精進してまいります。

祝 山原昌娃学院長 北陸中日芸能文化賞受賞

第19回北陸中日芸能文化賞を受けた山原昌娃さん（前列中央）と関係者の皆さん＝26日、中日新聞北陸本社で

「着物文化に光 感謝」

北陸中日芸能文化賞 山原さん喜び

第十九回北陸中日芸能文化賞の贈呈式が二十六日、金沢市の中日新聞北陸本社であり、山原昌娃さん（七〇）＝石川県七尾市＝に、北陸本社の前田昌彦代表から表彰状や記念品が贈られた。

淡いベージュに麦の穂をあしらった上品な加賀友禅で式に臨んだ山原さんは、学院の師範や家族らが見守る中、「着物文化に光を当てていただき感謝します」とあいさつ。五十年にわたる指導と後進の育成を振り返りながら「今後も着物を楽しみ、笑顔の輪の中で励みたい」と語った。

前田代表は「日本文化の継承に欠かせないのが着物。着物文化を絶やさず地域に根付かせた」と功績をたたえた。来賓として七尾市文化協会の中西清一会長、石川テレビ放送の林寛子社長が出席した。

北陸中日新聞　令和４年3月27日付

昨年に続いて大きな賞を学院長が頂きました。日本のきもの文化の継承と発展に五十年以上にわたり邁進してこられたことが評価されました。学院生一同大変嬉しく思っております。おめでとうございます。

『誇らしいです。山原先生』

師範　田中ひとみ

三月二十六日、中日新聞北陸本社において「北陸中日芸能文化賞」の贈呈式がありました。五十余年にわたり着物文化の継承に熱意を持ってご指導された功績に光が当てられました。

従来、贈呈式はホテルで開催されるとのことですが、コロナウイルス感染防止対策として新聞社での開催となりました。「ただひたすら前を向いて歩んで来た」学院長のこの言葉が大好きです。着物着付をはじめ人と人との関わり方等今後においても益々ご指導賜りたいと存じます。おめでとうございました。

北陸中日芸能文化賞受賞を祝して

師範　尾西ゆき子

令和四年三月二十六日、山原学院長が半世紀という長きに渡って着物着付け、後進の育成・着物文化の魅力発信・無料着付体験やボランティア等の普及活動が高く評価され、北陸中日芸能文化賞を受賞されました。学院生一同、その栄誉を誇らしく深くお喜び申し上げます。

いつも笑顔で、実技・伝統文化や風習・歴史やしきたり・良識ある人間としての生き方やマナー等多方面に私達を導いて下さり、また学院長の実行力や統率力に感服し衿を正さずにはおれません。

どうぞご自愛下さいまして今後も私達学院生の先頭に立ちご教授下さいますよう切に願って止みません。

ありがとうございました

学院長　山原　昌娃

『北陸中日芸能文化賞』大きな賞を拝受致しました。

思いがけない受賞に戸惑いもありましたが、学院の皆様の喜ぶ姿が大きな支えとなりました。

当日は、中日新聞北陸本社社長・前田昌彦様はじめ、石川テレビ放送の林寛子社長様も皆様も笑顔でのご対応。私の緊張を少しでも和らげようとのお心遣いを感じ、改めて賞の大きさ重みを受けとらせていただきました。

七尾市文化協会会長中西清一様にもご来賓としてご臨席を賜りました。お礼を申し上げます。

学院の皆様と共に歩んできたこの道、永い年月支えていただいたお陰で今日があり、地域の方々のお力添えがあって、この賞をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

金沢中日文化センターで「きもの着付け」の講座を担当して三十七年。受講いただいた大勢の皆様おひとりお一人にお礼を申し上げます。三十七年間も途切れる事なく開講でき、益々講座が賑わっていることに、喜びと幸せを感じております。

今また〝きもの〟〝きもの着付け〟に光を当てていただきました。これからも尚一層、きものの魅力を伝え広めて参ります。学院の皆様と共に笑顔の輪の中で活動をして参ります。

今後もご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。

師範会

コロナ禍で出来なかった、勉強会やっと実現しました。

師範会の勉強会

会長　石川　勝子
会計　岩城　圭子

コロナ禍によりなかなか勉強会が出来なくて、やっと十二月十二日に勉強会及び食事会と銘打って行うことができました。

勉強会は手結びの後見結び二種類です。藤田先生と田中先生の二人によるデモンストレーションと、とても詳しくわかりやすい学院長の説明でした。

場所を変えて昼食は創作料理の数々をとてもおいしく楽しくいただきました。

早くコロナが収束して、楽しい会が出来るよう祈っています。

後見結び

師範　藤田　寿代

昨年師範研究会で、二通りの後見結びの実技をしました。

一つは、コロナ禍の前に国際文化学園京都道場の荘司礼子先生を学院長と共に数人で訪ね教えて頂いた、振袖に着ける後見結び。二つ目はテキストの、留袖に着付ける結びです。羽根とお太鼓の大きさや垂れとのバランスの取り方に依っては、ミス・ミセスのどちらにも結べる不思議な帯結びだと思います。また、踊りの舞台映えする大胆な程の大きさと、祝儀等の基本に沿った形作りの対比も。難しい結びですが、習得して行きたいと思います。

令和四年度

袋帯　姿枕使用の基本勉強会

会長　池田　孝子

コロナ対策をした中、第一回勉強会を催す事が出来た。（姿枕使っての二重太鼓メジャー有無し指導法）当日会員二十九名出席で山原先生の授業を受けた。まず教える時の指導者の位置について。生徒と対面する鏡座りはしない。斜めの位置等が良いという事。又帯を作る時、自分の体は動かさず、帯を動かす基本動作。次に帯を作る長さ、一回目テキスト通り百七十㎝。二回目からは、体格に合わせ百七十三㎝↓百七十五㎝と試みる方法等、指導上のポイントを再確認する得がたいスーパー授業であった。久しぶりの勉強会。この後食事会にあえの風へ。

大きな一つの輪

会計　野畠　圭子

四月十七日、あわただしくも緊張の中、勉強会を終え「あえの風」へ移動。三月に山原昌娃学院長が北陸中日芸能文化賞を受賞され、今回はそのお祝いの席です。師範会として学院長を囲んでの会食となりました。

一人一人の席が大きな円形に配置された広い会場で、おいしい料理とお酒をいただき和やかな時間が流れました。着物の着付けを通して山原先生はじめ皆々がつながり、大きな一つの輪となりました。役員として経験が少なく不慣れな私達でしたが、皆さんのお力をお借りし何とか無事終えることが出来ました。ありがとうございました。

金沢準師範会

十二月十一日
振袖帯結び発表会

会長　長澤　雅美

コロナ禍で活動を中止することが続きましたが、十二月に帯結び展を開催することができました。共に練習できた時は、集まれなかった日々など無かったように和気あいあいと楽しくアドバイスしあい、当日を迎えました。山原学院長がひとりひとりに丁寧にご指導してくださり、皆が目をキラキラさせながら改善点を学び、学院長の一手で更に帯が生き生きしていく様子に感動しました。会場には師範の先生方や講師会の皆様、休会中の方々など多くの方が来てくださり、熱気にあふれ、マスクでも笑顔が輝きました。学院長の温かいご指導と共に学ぶ仲間に支えられ、改めて学院の絆を深く感じ、学びと感謝の一日になりました。

北陸中日新聞　令和３年12月17日付

金沢中日文化センター講師・山原さん

生徒が独創的帯結び披露

成人式をテーマにデザインされた着物の帯結び＝金沢市みずきの瑞樹会館で

振り袖の帯結びの発表会が、金沢市みずきの瑞樹会館であり、着付けを習う生徒十人が、独創的な形を披露した。

金沢中日文化センターの着付け講座講師、山原昌娟さん(68)の指導を受ける金沢地区準師範会が開催。生徒たちは各自があたためてきたアイデアと練習成果を発表した。

成人式をテーマに、色とりどりの振り袖に合わせた創作の帯結びを展示。帯のしま模様を生かした披打つイメージや、洋服とのユニークな取り合わせなどを提案した。着物との相性や全体のバランスから形が決まるという。

帯の角度やねじり方、ひだの取り方など微妙な違いで印象が変わることから、山原さんは会場でも、生徒らに熱心にアドバイスしていた。（古谷祥子）

帯結び発表会に参加して

会計　竹内　雅美

金沢準師範会では、みずき会館で振袖の創作帯結びの発表会を行いました。今年度はコロナ禍で休会者が多く十四名での活動となり、発表会には十名が参加しました。当日は、金沢師範会・金沢講師会・休会の方々などたくさんの方に来ていただき、とても賑やかな発表会となりました。

参加者の作品を見たり、工夫した点を教えてもらうことで新しい発見があり、とても勉強になりました。また、試行錯誤して帯結びを完成できたことや、手順について尋ねられたことはとても嬉しく、これからも頑張ろうという気持ちになりました。

令和四年度
桜の木の傍で

会長　嵐　裕子

四月の総会に「桜」をテーマに皆様に着物を着ていただくようお願いしました。皆様思い思いの着物をお召しになられて総会に出席して頂き、桜をテーマにこれだけの華やかな種類の着物が見られたことは良いお勉強になりました。着物のお披露目会やお花見団子を食べながらお茶会を楽しんだ後、桜の木の傍らで集合写真を撮りました。皆様の笑顔がとても印象的です。コロナ禍はまだ続きますが、今年度はコロナに負けないよう、笑顔で楽しい活動が出来ることを願っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

初めての京帯作り

会計　齋藤　幸子

自分で着物を着たいという思いから始めた着付けでしたが、帯作りに挑戦できる日が来るなんて想像もしていませんでした。どんな帯を作ろうかワクワクでいっぱいです。京帯を作るにあたり、親身になってくださった山原学院長や講師を快く引き受けてくださった和裁の福田先生に深く感謝いたします。さて、リユースされたオリジナルの京帯を身につけて何処へ出かけましょうか。

七尾準師範会

令和三年度チームの和

会長　守友　伸子

令和三年度はコロナの真っただ中、計画していた行事ができるかが心配の中でのスタートでした。早速資格授与式の準備に入り、感染者数を気にしながらも皆さんの協力のもと無事終了することができホッとしました。しかし港まつりは中止となり浴衣の着付けもできませんでした。

秋の市民文化祭でも徹底した感染対策のもと、ワンピースの色や模様に合わせた帯結びをメインにして発表をしました。初めは洋服に帯結びは合わないかも?と色々考えましたが、意外と大丈夫でした。ここまでは行事に向けての準備などで会の集まりも出来ましたが、最後になり会員の学習会が出来ずに終わり残念でした。

令和四年度

ポシェット作りに参加して

令和三年度会計　黒崎真奈美

準師範会の勉強会でお揃いのポシェットを作成しました。作り方の行程などを教わりながら、みんなで和気あいあいと仕上げました。とても良い出来栄えに皆さん大満足。

資格授与式の準備時や総おどり等に大活躍でした。着付教室だけでなく、学院行事においても色々と学ぶ事が多々ありいつも豊かな気持ちになります。

これからも皆さんと一緒に新しい事にチャレンジして行きたいです。

みんなでポシェット作り

会長　大谷　礼子

今年も七尾準師範会の大仕事「資格授与式」が皆様のご協力の下、無事終了致しました事にお礼申し上げます。

さて、今年、七尾準師範会では、授与式や総踊りに向けて、お揃いのポシェット作りを行いました。そのポシェットを肩に掛けている準師範に気付かれましたか?毎年動き回る授与式や総踊りの時、貴重品や携帯をどこに持つかが悩みの種。同じ事を考えていた会員もいたので、提案し大事な勉強会の時間を頂き作成へ。ミシン4台を持ち込み久しぶりに針を持つ人、ミシンを最近全く触ってない人もワイワイガヤガヤと楽しかった事。表地は浴衣を邪魔しない白にし、浴衣の中のブルーを使った水引きで梅結びをポイントに。一見全てお揃いに見えますが、実は裏布は自分の好きな布を使用したので、大変個性豊かなポシェットとなりました。

私達のチームワーク

会計　神前　淳子

今年度は新たに四名の新会員の方を迎え、十九名での始動です。大谷会長のアイディアで第一回目の勉強会は「ポシェット作り」。そして資格授与式の準備、合言葉は『はい、よろこんで』。皆で連携・協力し合い無事終えることができました。

まだまだマスクが手放せませんが、今後の行事も無事開催できます事を願っております。

手作りポシェットの出番です

総踊りでも大活躍♪

金沢講師会

はじめての創作展挑戦

会長　大澤　和佳

十月十六日、金沢市の森山公民館にて、「半幅帯創作展」と題し、各会員が自分で設定したテーマに沿った帯結びを制作しました。創作の土台となる基礎を練習し、そこから着る方の年齢や雰囲気を考慮して帯結びを考えるのは頭を使いましたが、その分達成感がありました。皆さんに作品を見て頂く機会を積極的に作りながら金沢講師会全員で着実にレベルアップし、そこで培った技術をもとにたくさんの方に着物の楽しさを提案できるようになれたら素敵だなと思います。山原先生をはじめとした先生方、ご指導ありがとうございました。

創作した帯結びを講評する山原昌娃さん（手前から2人目）＝金沢市の森山公民館で

工夫の創作帯結び　金沢
発表会で技術披露

「山原昌娃（まさえ）きもの着付学院金沢講師会」が主催する帯結び発表会が十六日、金沢市森山の森山公民館であり、会員五人が創作した帯結びを披露した。

テーマは「半幅帯の変わり結び」。帯の種類には名古屋帯や袋帯などがあり、中でも幅十五㌢の半幅帯は小紋や浴衣などの平服に適し初心者でも扱いやすい。着物姿の会員五人は色とりどりの着物を着せた人形八体を使い、文庫結びや蝶結びなどを自由にアレンジし発表した。

「女性らしい線がでるように」と帯をねじり工夫を凝らした同会の大沢和佳会長（㋆）は「どの帯をつかってもアレンジできるようになりたい」と意気込んだ。

発表会は、同会で身に付けた技術を披露する場として、毎年開かれている。同会の講師を務める山原昌娃さん（八〇）は、金沢中日文化センターの「きもの着付け教室」の講師も務めている。（西川優）

北陸中日新聞　令和３年10月17日付

ビバ金沢講師会

会計　櫻井美代子

金沢講師会は、二十代～七十代の十一人で構成。講師になるため、七尾や京都に伺い、苦楽をともにしたメンバーが、多数入会しているためか、チームワークがとてもよい会です。

私が講師会に入会間もない頃、講師の名は今のレベルでは分不相応のため〝ひよこ組〟はどうかと通称を変えようとした私達。山原先生の「いつ迄も〝ひよこ組〟では困ります。」の一言に皆苦笑。今は鶏になれる様精進の日々です。

令和四年度

浴衣の無料着方教室開催

会長　荒木　真澄

七月十日森山公民館で山原先生と「浴衣の無料着方教室」をしました。参加者は母・娘・孫の家族が三組、中国からの研修生二名、他二十代から六十代の八名でした。小中学生の母は「母親としてのスキル。いつでもすぐ着せてやれるよう覚えたい。」と真剣な様子で子供と話しながら着せていました。大学生の母と祖母は「成長した娘（孫）と一緒に習えて楽しみなぁ。」とうれしそうでした。今回浴衣へ親しみと気軽さを感じ、親子のふれあいができた会でした。来年また行いたいです。

浴衣無料着方教室

会計　坂井たみえ

募集定員十名を大きく上回る十四名がご参加下さいました。

その参加者の中に外国人の方のご参加がございました。

異国の文化を学ぼうと一生懸命な姿に講師の私達も熱が入ります。

日本人への着物文化の伝承と共に外国の皆さんへ向けた発進も必要と改めて気づかされた有意義なイベントでした。

浴衣 気軽に着てみて
山原昌娃学院 講師会が体験会

金沢中日文化センター講師の山原昌娃さんが主宰する「山原昌娃きもの着付学院 金沢講師会」による浴衣着付け体験会が十日、金沢市の森山公民館で開かれた。お気に入りの浴衣を持参した市民ら十四人が、着崩れしにくい帯の結び方やたたみ方などを学んだ。

各地で夏祭りなどが予定される中、気軽に浴衣を着て夏の文化に親しんでもらおうと初めて企画した。講師九人が「涼しげに着こなすために丈は短く、くるぶしくらいにしましょう」「帯の結び目が上を向くようにひっぱると、ぐっとすてきになります」などとアドバイス。参加者は手ほどきを受けながら懸命に着付けを取得していた。

初めて浴衣を着たという会社員の楊晨子さん（㋆）＝同市小立野＝は「帯の結び方が難しかったので、練習して花火大会に着ていきたい」と笑顔だった。

講師会の荒木真澄会長（㋆）は「親子での着付けはコミュニケーションにもなるので、気軽に着てみて」と呼び掛けた。（高岡涼子）

帯の結び方の手ほどきを受ける参加者＝金沢市の森山公民館で

北陸中日新聞　令和４年７月11日付

七尾講師会

包装紙が着物に

会長　五島　敬子

講師会会員六人です。一つでも多くの技術を身につけていこうという思いで活動計画をたてましたが、コロナ禍での活動は難しかったです。

十月三十一日七尾市民文化祭に参加しました。「成人式の帯結び」をテーマとしてボディに布以外の素材を着物に見立てて、帯結びをして展示しました。

講師会は包装紙を使うことにしたのですが、着物の柔らかい線を出すのは思いの他むずかしく花束に使われていた包装紙を利用しました。

帯が引き立つように包装紙を重ねたりして、文庫結びや蝶結びなどを基本にして創作しました。ラメの入った包装紙もあしらい、遊び心も入れながら、華やかで可愛いい帯に仕上がりました。

先生に助言を頂きながら、それぞれ素敵な帯結びとなりました。

今回は、四人しか参加できませんでしたが、会として活動を広げていきたいと思います。

着付士科を終えて

会計　山形　清美

コロナ禍で延期になった着付士科でしたが、同期が増え楽しい学びの場となり無事に修了証書を頂きうれしく思います。その成果を市民文化祭「成人式の帯結び」で発表することになり、振袖に基本の蝶結びで参加しました。山原先生の授業を思い出しながら会場でボディに着付けました。周りを見渡すと、新聞紙やワンピース、ラッピングペーパーを着物に見立て、それぞれには創意工夫に富んだ変わり結びが締められ、華やかさの中にも技術の高さがかんじられました。振袖は「晴れ着」です。いつか誰かの門出を彩るお手伝いが出来るようになりたいと思った日でした。

令和四年度

着物で食事会

会長　大根由起子

七尾講師会は会員数が少ないので意思疎通が図りやすく和気藹々と活動しています。

五月九日に石川県民割を利用して現メンバーでの初親睦会を行いました。食事の前に観光クーポンで「花嫁のれん館」を見学しましたが、全員着物姿のため職員の方々に喜んでもらえました。その後「能登すしの庄信寿し」で素晴らしい庭を眺めながら美味しい料理と楽しい会話で絆を深める事が出来ました。

玄関で草履を脱ぐ際や食事中のナプキンの使い方、所作などその場に応じたマナーを山原先生に教えていただき、実践で習った事は身に付きやすいと感じました。

写真は食後にお店の前で撮影したものです。

半幅帯の勉強会

会計　吉田美津子

六月の月例勉強会で半幅帯の結び方を学び、翌月、ゆかた無料教室や資格授与式の行事があるため、浴衣着用での稽古となりました。

文庫結びは、全国の中学生が授業で習う結び方、蝶結びは、ゆかた無料教室で結ぶ基本となります。

同じ帯でも、結び手によって仕上がりが異なり、小物一つ入れるだけで華やかさが増します。皆さんの創作結びに刺激を受け、学院長の一手加わることで表現が変り、又一言で考える事ができます。これからも研さんを積みたいと思います。

連鎖校会

連鎖校会親睦会

松乃碧で華やかに開催

五月二十二日

加賀屋別邸
松乃碧
MATSUNOMIDORI

加賀屋別邸「松乃碧」にて

連鎖校会会長　岩城　圭子

うわさで、美術館のようだと言う加賀屋別邸「松乃碧」にて食事会を開催しました。

料理のおいしさと多彩なうつわの形や組合せにため息がでました。

「えっ」と感じるうつわの組合せがお料理とうつわを眺めると「食べずにもって帰りたい！」と思いながら口の中で無くなりました。

以上、岩城からの食レポでした。

加賀屋別邸「松乃碧」すべてが美術館でした。

「百聞（ひゃくぶん）は一見（いっけん）にしかず」のことわざ通りの自分の目で見ないとわからない。その通りでした。

松乃碧での食事会

友朋会　美智教室　八野田美智子

五月二十二日天候にも恵まれコロナ禍の中連鎖校会が加賀屋別邸松乃碧で食事会が開催されました。久しぶりに皆さんとお会いしお品書風薫るころのお料理を伝統的な器と五感を和気あいあいと堪能させて頂きました。また松乃碧のスタッフ方々の笑顔で心のこもった素晴らしい接客でとても良い気持ちになり癒やされ楽しい一日を過ごす事が出来ました。食事の後、連鎖校会から学院長に能登上布でグレーのショールが贈られました。肩に羽織られた先生最高に素敵でした。今回山原先生始め役員の皆さん本当に御世話になりました。ありがとうございました。

「松乃碧」で昼食会

竹田幸子きもの着付教室　竹田　幸子

和倉温泉「松乃碧」にて　連鎖校会親睦会が、行われました。六月前でしたが、私は単衣の着物で参加しました。学院長や役員の方のお話の後は、お楽しみの昼食会です。

料理長の創作日本料理という事で、見た目はもちろん　味も最高でした。また、おもてなしの心がゆき届いた接客に　さすが「加賀屋」さんと感心いたしました。

私のテーブル席では、各教室や、生徒さんへの思い、また悩みなど、共通の話題で盛り上がり、有意義な時間を過ごす事ができました。

着物を着て　おいしい食事と楽しい会話が出来た平和な一日に感謝です。

各連鎖校

幸せな時間

金沢きもの着付教室
きせわたの会　藤高　法子

令和四年も半年以上が過ぎ、日本では地震や悪天候により各地に大変な被害を受け。世界ではロシアのウクライナ侵攻により恐ろしい惨劇となり全世界に大きなダメージをあたえています。

新型コロナウイルスも少し前まで「ノーマスクＯＫ」などと言われましたが、今では「第七波」急拡大と大変な騒ぎとなっています。繰り返し来る波がどこまで続くのか。身近な所にも感染が増えている事が心配になります。

しばらくは教室も活動休止になっています。コロナ前には一ヶ月に一度、中座先生のお宅に集まり勉強会を開いたり、美術館めぐりをしたり、年度末には皆で食事会にも行きました。勉強会では、季節や行事に合わせて皆で帯結びを考えたり、忘れている所を練習したり、練習後のお茶会もとても楽しく幸せな時間でした。

一刻も早く平和が訪れ誰もが普通の日常に戻れる事を願うばかりです。

教室の今

田鶴浜教室　藤澤　久江

教室紹介と申しても、ここ二年余は、コロナ禍でこれと言う行事は何もなく皆さんに誇れず残念で恥ずかしい限りです。そこで現在の状況を記したいと思います。

病院関係五名、保育関係二名、旅館関係二名、他に四名が通って居ります。と言ってもコロナで中々続けて出席出来る状態ではありません。都合のよい時にいらっしゃいと伝えても、それすら出来ない時もあります。お互い気長にやって行こうと思います。コロナが収束したら、あれも、これもと夢が膨らんで参ります。とりあえず全員集合で食事会から始め、皆さんの意見を聞いて、希望を見い出していけたらと願うこの頃です。

高松教室

うなばら　新田美智代

かほく市木津区女性会のサークル「うなばら」は、堀井先生のご指導の下、着付けや所作など月二回勉強に励んでいます。堀井先生の優しく可愛い雰囲気と時に厳しく真摯な指導やその佇まいに接していると、もっと着物についての知識を吸収したい、教わりたいと俄然意欲が湧き練習中はとても真剣になります。練習が終わると一転お茶を飲んだりお菓子を食べたり楽しい時間を過ごしています。

現在は、コロナ禍の影響によりお休みをしていますが、季節の折々には様子を見ながらですが、食事に行くなど繋がりはあります。「また着付けの練習がしたいね」と再開を待ちわびています。

着物という縁で繋がっているサークルですが着物の枠を超えて大事な仲間になっています。また教室再開できることを心から待っています。

羽咋教室の紹介

羽咋教室　丸吉ひとみ

羽咋教室は会員十三名、休会会員四名　合計十七名が在籍しています。

コロナ感染の影響で約二年三ヵ月、教室をお休みしています。でも、毎年、年間行事を計画し、文書で連絡してきましたが、実行できないまま今に至っています。

そこで想い出話となりますが、勉強会の日は主に、師範の先生による変わり結びのご指導を受けます。あまでもない、こうでもないと皆さん四苦八苦しながら真剣に取り組む姿が思い出されます。勉強後は毎回恒例の女子会の始まりです。お茶とお菓子を頂きながら、近況や世間話に花をさかせました。

近々再開に向けて活動したいと思います。

※コロナ感染三ヶ月前の忘年会の写真です。（七尾信寿しにて）

中能登町スローツーリズム文化事業

令和三年九月二十五日
ゆかた着方レッスン

鹿西高校染色部　男子二名、女子八名の皆さんと、高畠「かめや」にて「ゆかた着方レッスン」を行いました。

中能登町スローツーリズム

師範　宮本　徳子

スローツーリズムとは「衣・食・住・観」に注目して中能登町を活性化しようという試みです。その内の「衣」でお手伝いしました。

鹿西高校染色部の生徒を迎えて浴衣の着付レッスン。時間が限られた中で慌ただしい一日でしたが、終盤には散策もあり、男女共楽しげに出かけました。

十回コースの「着物を一人で着てみよう」では、コロナの中、延期の月もありましたが無事終了することができました。竹ケ端、大谷、神前各先生と共に楽しく又勉強になる日々がすごせました。お声がけ戴いた山原先生、関係各位に感謝しております。また、機会がありましたら微力ながらお手伝いしたいと思います。

令和三年十月十三日～令和四年五月十一日
きものをひとりで着てみよう

〝きものに見つかる、新しい自分〟と題し、着付教室（十回）に中能登町、七尾市、羽咋市より十名の申し込みがありました。

共に楽しみました

師範　竹ケ端　富美江

中能登町スローツーリズム主催の着付け教室に山原学院長の下、昨年十月より全十回。着付けマナーでの学院長のユーモアたっぷりの講義で受講生の方々も興味津々。能登上布のお話や生地に触れ、本物を味わう貴重な体験もしました。持ち寄った着物の再活用の提案もありました。自分で着た着物で街歩きをしました。最終日には自分でお気に入りの着物に半幅帯を締め今迄の勉強の成果を笑顔で披露。共に楽しんだ五か月でした。

（参加者）
山原　昌娃
宮本　徳子
竹ケ端富美江
大谷　礼子
神前　淳子

北陸中日新聞　令和３年11月7日付

能登上布と着物文化 普及を

中能登スローツーリズム協 着付けなど教室

作法や歴史を月2回解説

学院だより

一月九日 成人式ボランティア

七尾準師範会　豊島　有里

中能登町はコロナ禍のため式典と集合写真のみで、久しぶりに再会した同級生との談笑も「終了後は会場から速やかに退出して下さい。」のアナウンスに遮られ、感染対策とはいえ気の毒な成人式でした。早くコロナが収束し例年通りの成人式が開催できることを切に願います。

六月四日 久し振りの百万石踊り流し

金沢講師会　大澤　和佳

百万石踊り流しが三年ぶりに開催され、十一名で参加しました。感染対策のため一人一人の距離は遠かったですが、その分「掛け声も大きく、踊りものびやかに」を心がけ、結果として例年以上にハッスルできたと思います！普段の教室ではご一緒しない先生方とも一緒に踊ることができ、練習から本番まで、とても楽しかったです。コロナが収束した暁には、皆さんとこれまで以上に熱気あふれるパフォーマンスをしたいと思います。ありがとうございました。

七月十七日 七尾港まつり総踊り

七尾準師範会　平山　広美

およそ三年ぶりに七尾港まつりの締めくくりとも言うべき総踊りが開催されました。とは言え未だに感染対策を講じるのは言うまでも無く関係各位のご苦労は計り知れない。久しぶりに揃いのゆかたで集いし面々が旧交を温めました。夏の夕暮れに、おなじみの三曲を思い出しながら、生演奏の調べがとても心地よかったです。少しずつ戻る日常と海の恩恵に感謝しながら楽しく嬉しいひと時でした。

七尾市が舞台の人気漫画「君は放課後インソムニア」と「七尾港まつり」がコラボしてうちわもポスターもかわいらしく!!

令和４年度　山原昌娃きもの着付学院　各会・認定校・連鎖校役員一覧

会　　名	令和４年度役員
連鎖校会	岩城　圭子 大谷　礼子 神前　淳子
師範会	池田　孝子 野畠　圭子
金沢準師範会	嵐　裕子 齋藤　幸子
七尾準師範会	大谷　礼子 神前　淳子
金沢講師会	荒木　真澄 坂井たみえ
七尾講師会	大根由起子 吉田美津子

教室名	先　　生	令和４年度役員
氷見教室	田中（孝美）先生	南　照子　　谷口　京子
金沢教室	中座先生	前田由起子
松井教室	松井先生	大橋　陽子
田鶴浜教室	藤澤先生	小垣裕美子　　林　定子
高松教室	堀井先生	谷﨑　幸子　　高橋　三枝
羽咋教室	田中（カフミ）先生	丸吉ひとみ　　國門加寿子
河原教室	河原先生	中尾　聡恵
みやもと教室	宮本先生	八十田和代
ふみ娃教室	竹ヶ端先生	平澤　純子　　袋井　弘美
まさこ教室	石川先生	松井　俊子

全国きもの指導者協会

・事務局長（会計兼務）
藤田　寿代
・地区代表幹事　久木満津美　田中　孝美
中座　道子　堀井　紀子　田中ひとみ
山田　清美　竹田　幸子
幹事の任期は二年間とし、再任は妨げない。
・会計監査　久木満津美　竹田　幸子
・各会会長　岩城　圭子　池田　孝子
嵐　裕子　大谷　礼子　荒木　真澄
大根由起子
（任期は一年）

京都にて理事会

学院長　山原　昌娃

八月六日、全国きもの指導者協会の理事会に出席。理事八名の内三名欠席。五名の参加です。久々の出合いに話が弾みます。残務整理の為の議案についても全て可決。現況報告や今後の交流についても盛り上がり、お会いする事の大切さを実感です。

会長職を返上すべく臨みましたが、強い要望に二年間との期限付きで受ける事になりました。又福島先生も副会長を快諾して戴きました。前々日の大雨の被害で「サンダーバード」が運休し、往復新幹線で東京廻りとなりました。駅員さんのいる改札しか通れない切符でしたが、どこの駅でも必ずかけて下さった言葉が心に残りました。「ご迷惑をおかけしております」と。

徳永前事務長様とご一緒に‼

「七尾市文化協会」新春の集いに参加

１月８日　あえの風にて

行事予定

◆**十月三十日**　「七尾市民文化祭」参加
フォーラム七尾　四階大ホール
◆**十一月十三日**　「きものの日」
無料着付け・街歩き
◆**一月八日**　「はたちの集い」
七尾市・中能登町
きもの着付けお直しボランティア
◆**二月二十六日**　第十回「きものの集い」
あえの風　全員振袖で参加

広告を協賛して頂きました各社に厚く御礼を申し上げます。

編集後記

コロナ感染拡大・大雨・猛暑・地震・ウクライナ情勢等、心の休まる事がないこの頃。

そんな中でも、行動制限が緩和され、感染予防を徹底しながら、行事も少しずつ実施できるようになり、心配しつつも明るさが見えてきた気がします。〝ちむどんどん〟する活動をしたいものです。

本号は、山原学院の各会や教室の活動の様子をまとめてみました。なかなか会えない状況だからこそ、互いの活動を共有し、学院のまとまりや向上に繋げられたらと思います。

寄稿ありがとうございました。

資格授与式の折、ご案内しましたが、学院のHPで今までの学院誌をご覧になったでしょうか。やり方は、①文字や音声入力で山原昌娃きもの着付学院と検索②ウェブサイトをタッチ③左側の下から二番目の「学院誌翔」をタッチ④見たい号の表紙をタッチ。是非ご覧下さい。　（細田）

●編集委員……
山原　昌娃　細田　節子　守友　伸子
神前　淳子　大谷　礼子

翔　第三十八号　令和四年九月一日発行
発　行　全国きもの指導者協会認証校
山原昌娃きもの着付学院
〒926―0816　七尾市藤橋町寅一二六―一
TEL（〇七六七）五二―一六二五
FAX（〇七六七）五二―七五五六
ホームページ　https://yamahara2.web.fc2.com
編　集　翔　編集委員会
責任者　山原　昌娃
印　刷　第一印刷株式会社
〒926―0031　七尾市古府町ヘ部三十四番地一
TEL（〇七六七）五三―三八〇〇

和日遊日

はるなお

きものSalon 推奨店

はるなお文化教室

きもの着付・茶道【表千家・裏千家】・三味線・書道
木目込み・組紐・水引・和裁・テーブル茶道・
きものdeおでかけ　など　一緒に『和』を楽しみましょう

〒926-0048
七尾市桧物町2番地
Tel:0767-53-0423　Fax:0767-52-9033
和日遊日はるなお　検索
LINE ID検索：@harunao

能登半島国定公園・和倉温泉
国際観光ホテル整備法 登録旅館（登旅第1675号）

加賀屋 姉妹館
あえの風

あえの風予約センター
TEL(0767)62-2111 FAX(0767)62-1123
〒926-0192 石川県七尾市和倉温泉　あえの風　検索

きもので非日常へ

帯・小物の色合わせの「妙」で着物ではなく着る人を「主役」にする。

和福工房 はる喜
七尾市阿良町2　TEL 0767-52-3162

とことん向き合い、ずっと寄り添う家づくり。
City House

シティハウス産業株式会社

〒926-0818 石川県七尾市馬出町ハ部51-3
TEL 0767-53-2133　FAX 0767-53-7910
E-mail info@cityhouse.co.jp
http://www.cityhouse.jp